江戸っ子奉行　天下を斬る男（1961）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 89分
初公開日 1961/03/12

【解説】
鈴木尚也と平田肇による脚本を「若さま侍捕物帖」の佐々木康が監督した時代劇。「家光と彦左と一心太助」の中村錦之助が若き日の大岡越前守に扮し、殺人事件を解決に導く。
貧乏長屋に住む忠さんこと忠相は、となりに暮らすやくざの宇之吉の妹であるお栄に惹かれていた。宇之吉は博奕で大負けし、借金の代わりとして竜神の虎五郎にお栄を連れ去られてしまう。一方、忠相は南町奉行筆頭与力だった父親が亡くなったのを受け、飛び出した家に戻り再び武士として生きることを決意。だが一ヶ月後に起きた殺人事件の下手人として自首してきたのがお栄だったことから、忠相は真犯人捜しを開始する。そんなある日、忠相は竜神一家に襲われた宇之吉を助けるが、宇之吉は殺人事件の真犯人が自分であること、竜神の虎五郎に命じられて殺人を犯したこと、そして妹のお栄が自分の身代わりになったことなどを話して死んでしまった。忠相は再びやくざものの忠さんになり、竜神一家に潜入するのだった。

【クレジット】
監督 佐々木康
企画 小川貴也
脚本 鈴木尚也
平田肇
撮影 坪井誠
美術 井川徳道
音楽 小杉太一郎
出演 中村錦之助
丘さとみ
日高澄子
大川恵子
山形勲
東野英治郎
月形龍之介

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.